

## 羽生市における公共交通の現状及び今後の方針について

### 1. 羽生市における公共交通の現状について

#### 1-1. 現在の「あい・あいバス」の概要

平成19年1月4日より、福祉バスとして朝日自動車(株)が運行しています。

運行日：毎週月曜日～金曜日（4ルートを1日4便ずつ運行）

運賃：200円（1人1回乗車）

未就学者は申告、障がい者の方は障がい者手帳の提示により無料となります。

#### 【令和元年度利用者数等】（平成31年4月1日～令和2年3月31日 運行日数240日）

区分	須影・岩瀬 ルート	川俣・新郷 ルート	手子林・ 三田ヶ谷ルート	井泉・村君 ルート	計
利用人数	1,378人	1,710人	2,853人	3,833人	9,783人
1日あたりの人数	5.8人	7.1人	11.9人	16.0人	40.8人
路線距離	23.75km	25.94km	28.86km	24.12km	102.67km
停留所数	32か所	30か所	34か所	30か所	126か所

#### 【年間利用者数】（平成28年度～令和元年度）

平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
8,665人	9,774人	10,205人	9,783人

#### 【最近の主な改善点】

- ①平成28年度にバスのラッピングを施し一新しました。
- ②平成28年度に市内9地区の自治会長（代表2名ずつ）により協議・検討を行い、平成29年度よりルートの変更・バス停を新設しました。
- ③平成30年5月1日の羽生総合病院新病院の開業に伴いバス停を新設しました。
- ④令和2年9月30日（予定）に岩瀬土地地区画整理事業で進めている新しいまち「愛藍タウン」にバス停を新設します。

【 経 費 】

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
①総 経 費	18,346,499 円	25,604,512 円	24,505,189 円	22,907,131 円
②運行収入	1,386,499 円	1,446,888 円	1,551,121 円	1,371,934 円
③差引補助額 (①-②)	16,960,000 円	24,157,624 円	22,954,068 円	21,535,197 円
④実質負担額 (③×0.2)	3,392,000 円	4,831,525 円	4,590,814 円	4,307,040 円

\* 特別交付税の対象となるため、実質負担額は補助額の 2 割となります。

1-2. 羽生市における民間交通事業者の概要

タクシー事業者：羽生タクシー

民間バス事業者：平成エンタープライズ

【羽生駅西口発イオンモール羽生行き（工業団地・小松台 1 丁目経由）】

【羽生駅西口発愛藍タウン循環バス（羽生総合病院経由）】

その他事業者：羽生総合病院組合員バス

【羽生市内 三田ヶ谷便 火・木・土曜日】

【鴻巣便（南羽生駅経由） 月曜日】

【妻沼・行田便（新郷駅経由） 水・金曜日】

1-3. デマンド交通導入にあたっての乗合型と補助型の比較

「デマンド」とは「要求・要請」という意味で、「リクエスト」に近い言葉です。

現在、他自治体では「デマンド交通」という新しい交通システムを導入している事例があります。これは、事前に利用登録をした方から電話などで予約していただき、複数の利用者を専用の車で、自宅等から目的地までお連れするサービスです。主に乗合型とタクシー補助型の 2 種類があります。

	乗合型	タクシー補助型
メリット	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別交付税（80%）の対象となる</li> <li>・利用者が増加しても、市の負担は、ほぼ一定である</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者にとって便利である</li> <li>・乗合でなく個人ごとに利用できる</li> </ul>
デメリット	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他人との乗合になる</li> <li>・時間が正確でない</li> <li>・オペレーターやシステムの導入が必要である（費用は特交の対象）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別交付税（80%）の対象とならず、全額市の負担となる</li> <li>・利用者の増加に伴い、市の負担が年々増えていく</li> </ul>

#### 1-4. その他

羽生市議会平成31年3月、令和元年6月及び9月定例会において、デマンド交通の導入に向けての一般質問があり、答弁を行っております。

また、令和元年12月定例会においては、「デマンド型乗合タクシー早期実現についての請願」が趣旨採択されました。

#### 2. 今後の方針について

- ①アンケート結果から、高齢者層においてデマンド交通導入を望む声が多数でありました。
- ②アンケート結果から、あいあいバスは運行本数など不便な点が多く、日常的にあまり利用されておられません。
- ③今後も、高齢化の進行により、運転免許証を返納する方など交通弱者の増加が見込まれます。
- ④市内移動手段が充実することにより、高齢者等が外出する機会が増加し、健康維持効果や経済への好影響が見込めます。
- ⑤乗合型デマンド交通は、特別交付税80%の対象となります。



高齢者など交通弱者の移動手段の確保やあいあいバスの補完のため、乗合型デマンド交通の導入を進めていきたいと考えます。